

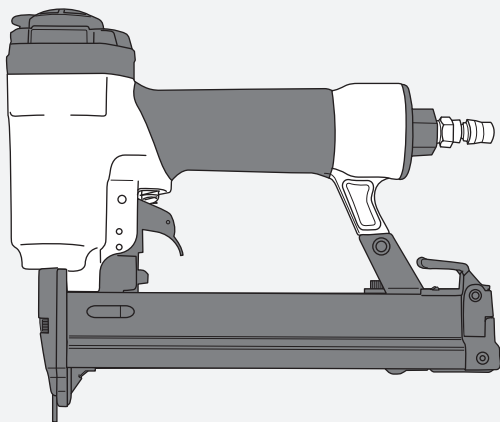
EARTH MAN

アースマンシリーズ

エアータッカー

AT-100J425

AT-110J1025



お客様へ

●本製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。



取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 6

用途

各部の名称・セット内容

仕様

機能

使用前の準備 8

使用前の準備

使用前の確認

給油について

ステープルの装填

エアーホースの接続

使い方 12

ステープルの打ち方

打ち込み深さの調整

排気方向の角度調整

お手入れ 14

保守・点検

故障かな?と思ったら

お買い上げの後に 19

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や、正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の

3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品はDIY用として開発されています。一般家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

本製品を安全にお使いいただくために

作業前

警告

1.必ず保護メガネを着用してください。

- 作業をするときは、打ち損じのステープルがはね返り、目に入り失明やケガをする恐れがあります。作業中・周りの人は必ず保護メガネを着用してください。

2.エアーコンプレッサー以外の動力源は絶対に使用しないでください。

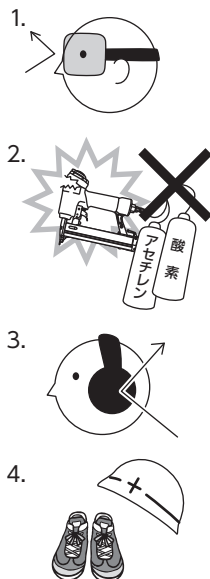
- 本製品はエアーコンプレッサーによる圧縮空気が動力源です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素・アセチレンなど)を使用すると、異常燃焼をおこし爆発の危険があります。

3.防音保護具を着用してください。

- 作業をするときは、排気音や排気された空気から耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具(耳栓など)を着用してください。

4.作業環境に応じて安全保護具を着用してください。

- 作業環境に応じてヘルメット・安全靴などの安全保護具を着用してください。



5. 作業に適した服装で作業してください。

6. 損傷した部品がないか確認してください。

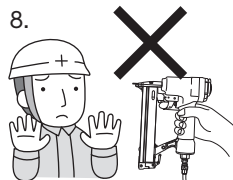
- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆرمみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 使用前に必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがないことを確認してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

7. エアーホースを接続する前に必ず点検してください。

- 各部のネジがゆるんでいないこと。
- 各部の部品が外れたり、傷んでいないこと。
- サビつきなどで、正常に作動しない部品がないこと。

8. エアーホースを接続するときは、次のことを厳守してください。

- 射出口を人体に向けてください。
 - 射出口付近・引金に触れないでください。
- 誤ってステープルが発射した場合、ケガの原因になります。



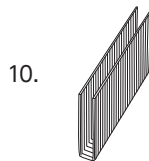
9. 使用する前にステープルを装填しない状態で、機体にエアーホースを接続し、下記の確認を必ず行ってください。

- エアーホースを接続しただけで作動音がしないこと。
- エアー漏れや異常音がしないこと。

エアーホースを接続しただけで作動したり、エアー漏れ・異常音がする場合は故障しています。ただちにエアーコンプレッサーとの接続を外して使用を中止し、お買い求めの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

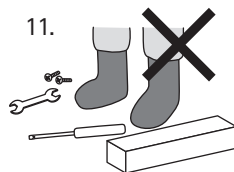
10. 指定のステープルを必ず使用してください。

- 指定されたステープル以外の物や変形したステープルは絶対に使用しないでください。(事故・故障・ステープル詰まりの原因)



11. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
- また作業の妨げになる物は、取り除いてください。



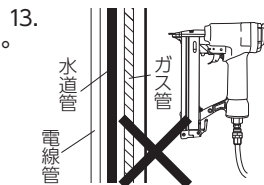
12. 無理な使用をしないでください。

- 本製品は、木材や類似の材料へのステープル打ち作業を目的としています。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。
- 本製品は衝撃を伴います。長時間の連続使用は避け、休みながら使用してください。

お使いになる前に (続き)

13. 作業前に必ず埋設物がないことを十分確認してください。

- 作業中、埋設物(電気管・水道管・ガス管など)への接触による感電・水漏れ・ガス漏れなどの恐れがあります。



作業中

! 警告

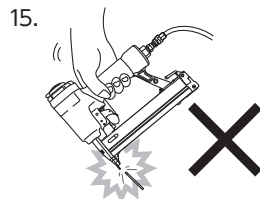
14. 使用空気圧を必ず守ってください。

- 本製品の使用空気圧の範囲は0.39～0.68MPa(4～7kgf/cm²)です。対象物・ステープルの長さなどによって範囲内で調整してください。0.68MPa(7kgf/cm²)を超える圧力で使用すると事故・故障・機体の寿命低下の原因になります。



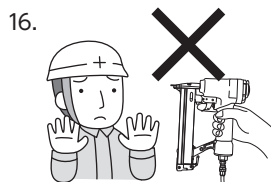
15. ステープルを打ち込むとき以外は、絶対に引金に指をかけないでください。

- 引金に指をかけたまま、移動・手渡し・ステープルの装填・調整などはしないでください。誤ってステープルが発射される恐れがあり、ケガの原因になります。



16. 射出口を絶対に人に向けてください。

- 射出口を人に向け、誤って発射した場合に重大な事故につながります。

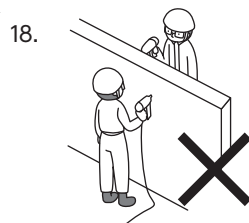


17. 射出口付近に顔や手足など、人体を近づけて作業しないでください。

- 誤ってステープルが発射したり、はね返って飛んだときなど、ケガの原因になります。

18. 壁の両側から同時にステープル打ち作業をしないでください。

- 打ったステープルが突き抜けたり、壁際のステープルがそれたりして壁越しの作業者にあたり、ケガの原因になります。

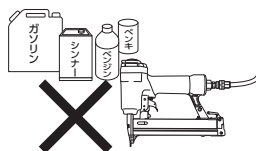


19. 射出口を確実に対象物に押しあててください。

- 1度打ったステープルの上に、再度ステープルは打たないでください。
- 射出口を確実に対象物に押しあてていない状態で使用した場合、木の節などにあたるとステープルがはねたり、機体が反発することがありケガの原因になります。

20. 揮発性可燃物やガスの近くで絶対に使用しないでください。

- 本製品やエアーコンプレッサーを揮発性可燃物(シンナー・ガソリンなど)の近くで使用するとステープルを打ち込むときの火花や、空気と一緒に吸い込まれて圧縮され、爆発の危険があります。



21. 作業者以外を近づけないでください。

- 特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

22. 高所作業のときは、下に人がいないことを良く確認してください。

- 高所作業のときにホースを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因になります。

23. 薄い板・木材の端にステープルを打ち込まないでください。

- 薄い板に打ち込むとステープルが突き抜けたり、木材の端・角などに打ち込むとステープルがそれたりして、ケガ・対象物破損の原因になります。

24. 壁などの垂直な面にステープルを打つときは上から下へ作業してください。

25. 床などの水平な面にステープルを打つときは前に進みながら作業してください。

- 後ろへ下がりながら作業すると、足をとられたりして事故の原因になります。

26. 斜面の上でステープルを打つときは上に向かって進みながら作業してください。

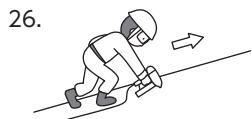
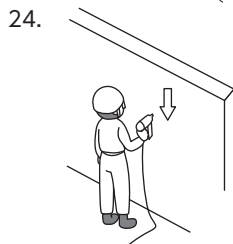
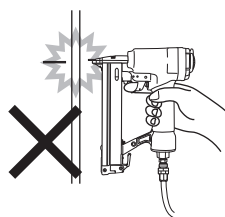
- 後ろへ下がりながら作業すると、足を踏み外したりして事故の原因になります。

27. 次の場合は、必ずエアーホースを外してください。

- 使用しないとき・作業中断時・使用後
 - 点検・調整・ステープルの装填・ステープルの詰まりを直すとき
 - 移動するとき・手渡しするとき
- エアーホースを接続した状態で行うと、誤って発射する恐れがありケガの原因になります。

28. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちに、エアーホースとの接続を外して使用を中止し、お買い求めの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因になります。



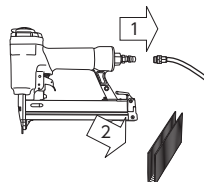
お使いになる前に（続き）

作業後

警告

29. 作業終了後はエアーホースを外してから、必ずステープルを全て抜き取ってください。

- ステープルを残しておくと、次に使用するとき誤って作動させた場合などにケガの原因になります。

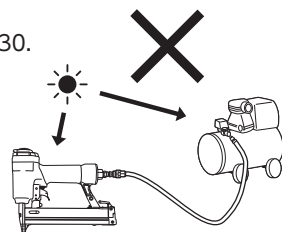


30. 本製品やエアーコンプレッサーなどは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。

31. 定期的に点検してください。

- 安全に能率良く作業していただくために、手入れは適時してください。

30.



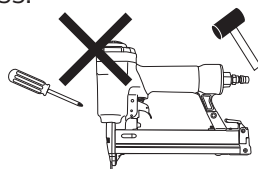
32. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、小さなお子様の手の届かない安全な所、またはカギのかかる所にきちんと保管してください。

33. 分解改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

33.



この取扱説明書は大切に保管してください。

また、本製品を他の人に貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

本製品について

用途

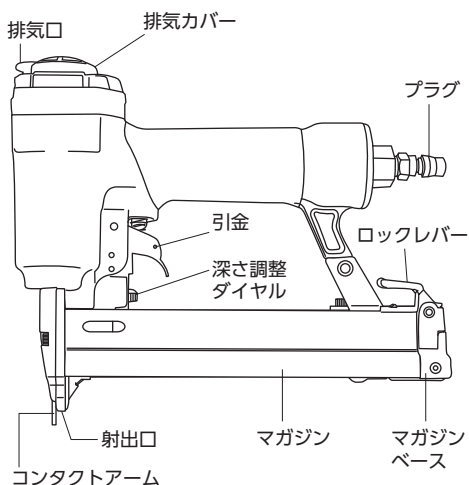
●木材や類似の材料へのステープル打ちに

※相手材の硬さや形状によっては、打てない場合がありますので試し打ちをして確認のうえで使用してください。

各部の名称・セット内容

<AT-100J425>

本体

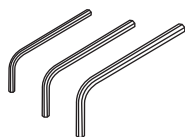


付属品

オイル差し
(ネイラ・タッカー用オイル入)



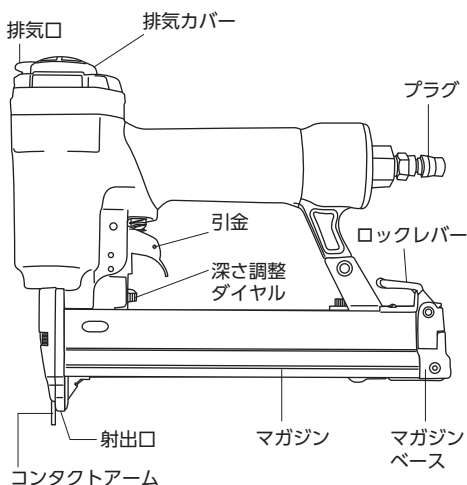
六角棒レンチ
2.5mm・3mm・4mm



※各部のネジがゆるんでいるときの
締め付け用です。
分解・修理などに使用しないでください。

<AT-110J1025>

本体

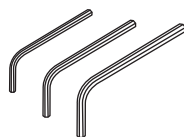


付属品

オイル差し
(ネイラ・タッカー用オイル入)



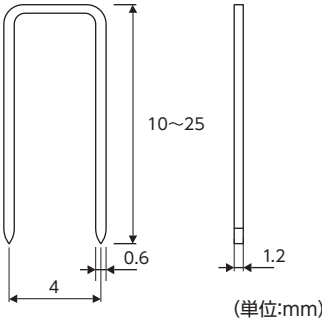
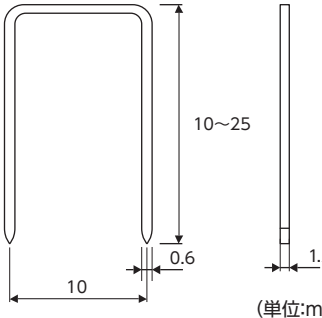
六角棒レンチ
2.5mm・3mm・4mm



※各部のネジがゆるんでいるときの
締め付け用です。
分解・修理などに使用しないでください。

本製品について（続き）

仕様

型 式	AT-100J425	AT-110J1025
バルブ機構	ヘッドバルブ方式	
マガジン機構	下開き方式	
使用空気圧	0.39～0.68MPa (4～7kgf/cm ²)	
使用エアース内径	φ6mm以上	
空気接続口	1/4プラグ (1/4NPT)	
使用ステープル	※市販のステープルが使用できます。 肩幅4mm 足長10～25mm ※相手材の硬さや形状によっては、打てない場合がありますので試し打ちをして確認のうえで、使用してください。  (単位:mm)	※市販のステープルが使用できます。 肩幅10mm 足長10～25mm ※相手材の硬さや形状によっては、打てない場合がありますので試し打ちをして確認のうえで、使用してください。  (単位:mm)
ステープル装填数	100本まで	
本体サイズ	約 長さ245×幅55×高さ195 (mm)	約 長さ245×幅55×高さ195 (mm)
質 量	約 1.3 kg	約 1.3 kg

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

機能

●安全装置

コンタクトアームと引金が同時に作動しないと発射しない装置です。

引金を引いただけでは発射されません。

コンタクトアームを対象物に押しあてただけでも発射されません。

※引金を引いただけで作動音がしたり、コンタクトアームを打ち込む対象物に押しあてただけで作動音がした場合は故障している可能性があります。ただちにエアースとの接続を外して使用を中止し、お買い求めの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

使用前の準備

使用前の準備

使用する前に次の準備をしてください。

1. エアーホースの準備 ※本製品のセット内容には含まれておりません。

- 本製品で使えるエアーホースは、内径が $\phi 6\text{mm}$ 以上で長さが30m以内の物です。エアーホースが長いと圧力が低下して十分な打ち込む圧力が得られません。

2. ステープルの準備 ※本製品のセット内容には含まれておりません。

- 本製品で使えるステープルで、用途に合った物を準備してください。(使用できるサイズはP7仕様参照)

3. 安全の確認

- 作業以外を近づけないでください。特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

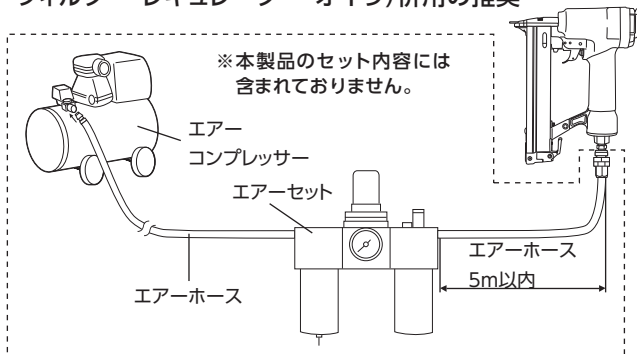
4. エアーコンプレッサーのタンク・スペアタンク・エアーセットのエアーフィルターの水抜き

- エアーコンプレッサーのタンク・スペアタンク・エアーセットのエアーフィルターに水がたまると故障・性能低下の原因になります。定期的に水抜きをしてください。

5. 市販のエアーセット(エアーフィルター・レギュレーター・オイル)併用の推奨

- 機体の寿命向上・性能維持に効果があります。

※エアーセットから本機までのエアーホースの長さを5m以内にしてください。



使用前の確認

⚠ 警告

- 揮発性可燃物やガスの近くで絶対に使用しないでください。

1. 使用空気圧の確認

⚠ 警告

- 本製品の使用空気圧の範囲は $0.39 \sim 0.68\text{MPa}$ ($4 \sim 7\text{kgf/cm}^2$)です。対象物の硬さ・ステープルの長さなどによって範囲内で調整してください。 0.68MPa (7kgf/cm^2)を超える圧力で使用すると事故・故障・機体の寿命低下の原因になります。

2. 本製品・付属品に破損・ゆがみ・ネジ・ボルト類のゆるみ・部品の脱落などの不具合・エアー漏れがないことを確認してください。

- サビつきなどで正常に作動しない部品がないことを確認してください。

3. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周囲に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

使用前の準備(続き)

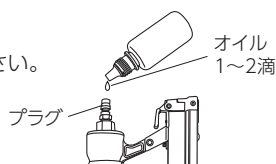
給油について

⚠ 注意

- 給油直後に空気を通すとしばらくの間、オイルが排気口から噴霧状に飛び散ります。オイルがかかっても支障のない所で2～3本ステープルを打ってオイルが出ないことを確認してから作業してください。
- オイルは付属の物を使用してください。その他のオイルを使用する場合は、市販のエアーツールオイル・エアータッカー用オイル・タービンオイルを使用してください。また、混用はしないでください。
- オイルは過剰に給油すると作動不良の原因となります。注意してください。

機体内部の駆動部に圧縮空気中のゴミがたまると動作が鈍くなります。オイルを差すことでまったゴミが除去されます。(機体の寿命向上・性能維持)

- 使用するときは、必ず1日に2回以上給油してください。
給油は作業の前後に1～2滴のオイルを機体のプラグから入れてください。
作業後に給油をしたときはステープルを1本打ってください。
オイルが内部に行き渡ります。

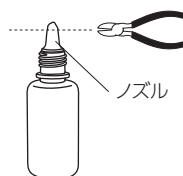


オイル差しの使い方

1. キャップを回して外してください。



2. お手持ちのニッパーなどでノズル先端のくぼんで
いるラインを目安にカットして使用してください。
※オイルが飛ぶ場合がありますので注意してくだ
さい。



3. 使い終わったらキャップを締めてください。

ステープルの装填

⚠ 警告

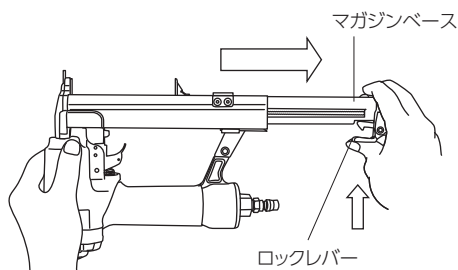
- ステープルを装填する場合は、エアーホースを外してください。
- 指定されたステープル以外の物や変形したステープルは使用しないでください。(事故・故障・ステープル詰まりの原因)

⚠ 注意

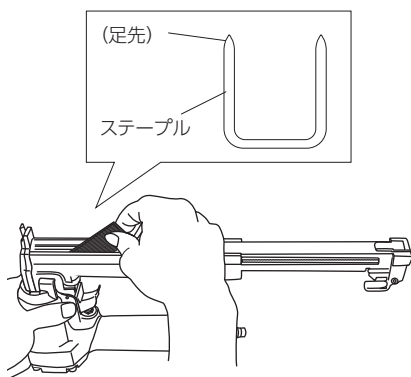
- ステープルは5本以上連結されたものを使用してください。また、連結の少ない物のを複数装填しようとするとネイル詰まりの原因となります。
- 長さの違うステープルを同時に装填しないでください。
- ステープルを過剰に装填しないでください。(故障の原因)
- ステープルは長時間外気や直射日光などにさらさないでください。(サビ・連結部の不具合などの原因)

本製品はP.7仕様に記載してあるサイズのステープルが使用できます。

- 1.ロックレバーを押して、マガジンベースを右図のように後方へスライドさせてください。



- 2.右図のようにステープルの足先を上にしてマガジン内に入れます



- 3.マガジンベースを前方へスライドさせて閉じてください。

※このとき、指を挟まないように注意してください。「カチッ」とロックレバーがロックされたことを確認してください。

使用前の準備(続き)

エアホースの接続

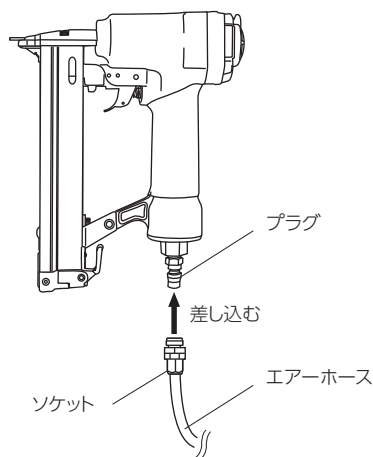
⚠ 警告

- エアホースを接続するときは、次のことを厳守してください。
 - ・射出口を人体に向けないでください。
 - ・射出口付近・引金に触れないでください。
 - ・射出口を台や床などの対象物にあてた状態にしないでください。
- 圧力がかかったままエアホースを脱着すると、反動によりケガや事故の原因になります。脱着するときは使用するエアコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整してください。

1.本製品の内部にゴミやほこりなどが入らないように、プラグに付着しているゴミを拭き取ってください。

2.本製品のプラグをエアコンプレッサーに接続されているエアホースのソケットにしっかりと差し込んでください。

※エアコンプレッサー・エアホースはセット内容に含まれておりません。



使い方

ステープルの打ち方

⚠ 警 告

- 射出口を人体に向けないでください。
- 射出口付近に触れないでください。
- 打つとき以外は引金に触れないでください。
- 使用しない場合や作業を中断する場合はエアースホースを外してください。
- 1度打ったステープルの上に再度ステープルは打たないでください。
- 作業後は、エアースホースを外してからステープルを全て抜き取ってください。

⚠ 注 意

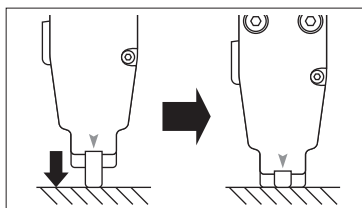
- 空打ちしないでください。ステープルを装填しない状態で空打ちをくり返し行くと、機体の寿命低下の原因になります。

◇ 注

- 使用する前に必ず試し打ちをして、打ち込み深さの調整を行ってください。
(P13 打ち込み深さの調整 参照)

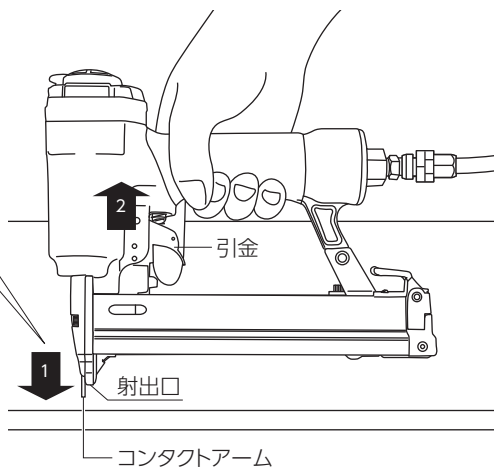
本製品はコンタクトアームと引金が同時に作動しないと発射されません。誤射などによる事故を防止するための安全装置です。

1. 射出口を打つ所にしっかりと押しあてます。



2. 引金を引くとステープルが打ち込まれます。
※引金は素早く、確実に引いてください。

素早く引かないと、打ち込み時の反動により連続打ちする場合があります。



使い方(続き)

打ち込み深さの調整

⚠ 警告

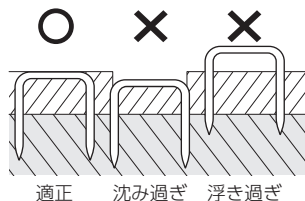
- 打ち込み深さを調整するときは、射出口を下に向けて顔や手足などを射出口に近づけないでください。
- 打ち込み深さの調節をするときはエアースホースを外してください。

注

- 使用空気圧によっても調整ができるので、深さ調整ダイヤルと併用してください。ステープルが沈み過ぎるような高圧で使用すると機体の寿命低下の原因になります。
- 機体を対象物へ押し付ける力でも打ち込み深さが変わる場合があります。

本製品は対象物の硬さ・ステープルの長さに合わせて適正に打ち込みができるように、深さ調整ダイヤルを回して打ち込み深さの調整ができます。

使用する前に試し打ちをして、調整してください。

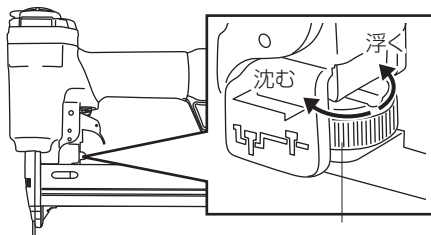


ステープルが沈み過ぎる場合

- ステープルが沈み過ぎる場合は、深さ調整ダイヤルを浮く（↑）方向へ回します。

ステープルの頭が浮く場合

- ステープルの頭が浮く場合は、深さ調整ダイヤルを沈む（↓）方向へ回します。



深さ調整ダイヤル

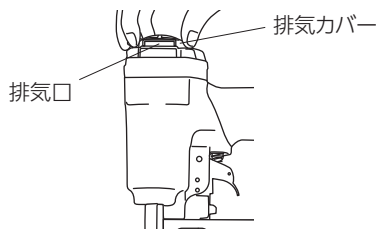
排気方向の角度調整

⚠ 警告

- 排気方向の角度調整をするときは、エアースホースを外してください。

注

- 給油後排気口からオイルが出る場合があります。周囲に配慮しながら調整してください。
- 排気カバーを手で回して排気口の位置を調整してください。(360°回転)



お手入れ

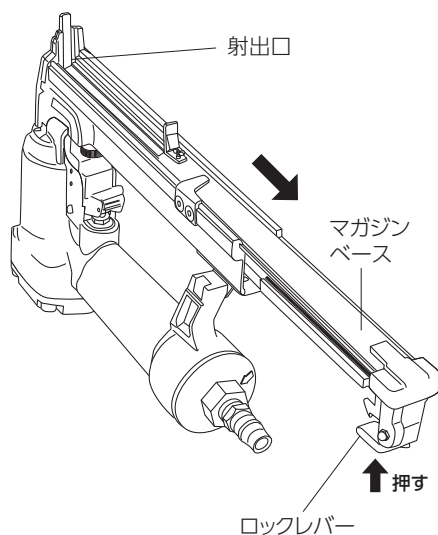
保守・点検

⚠ 警告

- 保守・点検のときは、エアーホースを外してください。
- 各部の取り付け・取り外しは確実に行ってください。

ステープル詰まりの直し方

1. ロックレバーを押して、マガジンベースを図のように後方へスライドさせてください。
2. 射出口が露出しますので詰まったステープルを取り除いてください。



お手入れ（続き）

各部取付ネジの点検

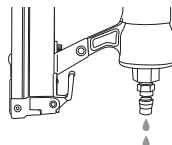
- 各部取付ネジにゆるみがないか定期的に点検してください。もしゆるんでいるネジがあれば、しっかりと締め直してください。

マガジンの点検

- マガジン内を定期的に清掃してください。マガジンベースを後方へスライドさせて、マガジン内にたまったゴミを取り除いてください。

作業後・保管

- 作業終了後は、オイルを給油してからネイルを1本打ってオイルを機体内部に行き渡らせてから保管してください。サビを防止するために必ず行ってください。
- 作業終了後は、エアーコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整して、エアーホースを取り外してください。
- 使用しないときは、プラグを下にして十分水抜きをしてからゴミ・ほこりが入らないようにプラグをふさいでください。



- 気温が下がると、ゴム製部品が収縮して空気が漏れ、始動が悪くなる場合がありますので暖かい場所で保管してください。
- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、小さなお子様の手が届かない安全な所、またはカギのかかる所にきちんと保管してください。

故障かな？と思ったら

⚠ 警告

●下記の対処で改善されない場合や、故障・異常時はただちにエアーホースとの接続を外して、お買い求めの販売店にお申しつけください。または、(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

状 況	原 因	対 処 法
作動しない	・エアーホースが外れている	・エアーホースをしっかりと差し込んでください。
	・安全装置が働いている	・コンタクトアームと引金が同時に作動しないと発射しません。射出口を対象物にしっかりと押しあててから引金を素早く確実に引いてください。
	・空気が漏れている	・コンプレッサーから本製品まで(コンプレッサー・エアーホース・プラグ・ソケット・本製品など)に空気漏れがないことを確認してください。漏れがある場合はその箇所の部品交換など、適切に対処して空気が漏れないようにしてください。
	・エアーコンプレッサーの吐出圧力が低い	・エアーコンプレッサーの吐出圧力を0.39～0.68MPaの範囲内で調整してください。
	・エアーコンプレッサーのタンク内圧力が低下し、加圧の最中	・加圧が終了するまで作業を休止してください。
ステープルが出ない	・ステープルが入っていない	・ステープルを装填してください。
	・ステープルが詰まっている	・P14 「ステープル詰まりの直し方」 を参照に詰まったステープルを取り除いてください。
	・マガジン内が汚れて動きが悪くなっている	・マガジン内のゴミを取り除いてください。
	・マガジンベースが確実にセットされていない	・マガジンベースをスライドさせて、「カチッ」とロックレバーがロックされたことを確認してください。
	・使用できないステープルが入っている	・P7 仕様 を参照して使用可能なステープルを使用してください。

お手入れ(続き)

状 況	原 因	対 処 法
排気口から噴霧状のものが吹き出る	・ エアーコンプレッサーのタンクに水がたまっている ・ オイルの入れ過ぎ	・ エアーコンプレッサーの取扱説明書を参照し、タンク内の水を抜いてください。また、サビ防止のためオイルを給油してください。 ・ 給油直後に空気を通すとしばらくの間、オイルが排気口から噴霧状に飛び散ります。オイルがかかっても支障のない所で試し打ちをしてオイルが出ないことを確認してから作業してください。
ステープルが浮く(沈み過ぎる)	・ エアーコンプレッサーの吐出圧力が低い(高い) ・ 深さ調整ダイヤルの調整が適正でない ・ 空気が漏れている	・ エアーコンプレッサーの吐出圧力を0.39～0.68MPaの範囲内で調整してください。 ・ P13 打ち込み深さの調整 を参照に深さ調整ダイヤルを調整してください。 ・ コンプレッサーから本製品まで(コンプレッサー・エアーホース・プラグ・ソケット・本製品など)に空気漏れがないことを確認してください。漏れがある場合はその箇所の部品交換など、適切に対処して空気が漏れないようにしてください。
ステープルが曲がる	・ 使用できないステープルが入っている ・ 対象物が硬すぎる ・ 対象物を貫通して、後ろにある別の硬い材料にあたっている ・ 射出口を対象物にしっかりと押しあててから引金を引いていない	・ P7 仕様 を参照して使用可能なステープルを使用してください。 ・ 木材でも木の節などの硬い部分や硬い物には適正に打ち込めない場合があります。材料の硬さ・打ち込む部位・ステープルの長さを考慮して使用してください。 ・ 対象物の厚さとステープルの長さを確認して適正なステープルを使用してください。 ・ 射出口を対象物にしっかりと押しあててから引金を素早く確実に引いてください。
連続打ちになる	・ 引金を素早く、確実に引いていない	
エアーホースに接続しただけで作動音がする	・ 故障の可能性	・ ただちにエアーホースとの接続を外して使用を中止し、お買い求めの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
コンタクトアームを対象物に押しあてただけで作動音がする		

MEMO

[illegible]

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品 名		EM エアータッカー		お買上げ日	年 月 日
型 式	AT-100J425	J A N コード	4907052 632042	保 証 期 間	お買上げ日より6か月
	AT-110J1025		4907052 632059		
販売店	販売証明書や レシート等を 添付してください。				

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限りです。
保証期間内におきまして、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。*
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
*製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

保証規定

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

*修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM 9:00～PM 5:00 (土日祝日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。